

(3) 住宅の規模

専用住宅の「1住宅当たり居住室数」は3.33室、「1住宅当たり居住室の畳数」は23.98畳、「1住宅当たり延べ面積」は63.54㎡となっている。平成20年と比較すると、「1住宅当たり居住室数」は0.05室減少、「1住宅当たり居住室の畳数」は0.74畳増加、「1住宅当たり延べ面積」は1.03㎡増加している。

「1人当たり居住室の畳数」は11.68畳、「1室当たり人員」は0.62人となっている。平成20年と比較すると、「1人当たり居住室の畳数」は0.81畳増加、「1室当たり人員」は0.01人減少している。

また、専用住宅の「1住宅当たり延べ面積」を都道府県別にみると、東京都は、全国で最も狭くなっている。(表5、図5、付表2)

表5 専用住宅の1住宅当たり居住室数・居住室の畳数・延べ面積、1人当たり居住室の畳数及び1室当たり人員

年次	専用住宅				
	1住宅当たり 居住室数	1住宅当たり 居住室の畳数	1住宅当たり 延べ面積	1人当たり 居住室の畳数	1室当たり人員
	室	畳	㎡	畳	人
昭和43年	2.77	14.84	43.84	4.46	1.20
48年	3.00	16.46	47.43	5.47	1.00
53年	3.25	18.48	50.66	6.46	0.88
58年	3.38	19.75	54.24	7.20	0.81
63年	3.48	21.04	56.72	7.91	0.76
平成5年	3.45	21.56	58.95	8.61	0.73
10年	3.41	22.01	59.43	9.50	0.68
15年	3.45	23.15	62.54	10.42	0.64
20年	3.38	23.24	62.51	10.87	0.63
25年	3.33	23.98	63.54	11.68	0.62
平成20年～25年増減数	△ 0.05	0.74	1.03	0.81	△ 0.01

注) 専用住宅とは、居住専用に建築された住宅を示す。

図5 都道府県別専用住宅1住宅当たり延べ面積の上位5位及び下位5位

